

# ひょうごの福祉

認め合い ともにつながり 支え合う みんなでつくる ひょうごの福祉

2019

12

No.826

P2 特集

地域住民に寄り添う  
民生委員・児童委員活動

P6 「ストップ・ザ・無縁社会」地域での支え合い

P7 みんなでつくるひょうごの福祉  
子どもたちのために居場所をつくる  
～地域に根ざした子ども食堂～

P8 キラリ★社会福祉法人  
社会福祉法人友朋会  
地域の学びの場 学習室「あおいそら」

P9 私の物語  
仲間に支えられた経験の恩返しをしたい!  
熊谷 光子さん(三木市)

P10 ひょうごの福祉NOW

P12 インフォメーション

寒さの中でも鮮やかに  
咲くサザンカ。  
奥須磨公園(神戸市)も  
名所の一つだよ。



12月は「障害者週間」(3～9日)、「人権週間」(4～10日)です



この機関紙は赤い羽根共同募金配分金により発行しています。



# 地域住民に寄り添う 民生委員・児童委員活動

兵庫県では、7,498名の民生委員・児童委員(以下、「民生委員」)が地域で活動している。(平成31年4月1日現在)

今年12月に3年に1度の一斉改選が行われ、新たに約2,700名の民生委員が委嘱される。

そのような改選期を迎える中、今回の特集は、民生委員活動の大切さや今日的な役割について、取材レポートを交えて紹介する。



## スローガン

民生委員・児童委員がめざすもの(全国民生委員児童委員連合会)  
**誰もが笑顔で、安全に、  
安心して暮らせる社会づくり**

## 民生委員を取り巻く 情勢の変化

民生委員制度は、平成29年に創設100周年を迎えた。その起源は大正6年に岡山県で創設された「済世顧問制度」と、翌年に大阪府で創設された「方面委員制度」に由来する。

昭和21年には民生委員令が制定され、民生委員は戦後の生活困窮者対策の一翼を担うこととなった。現在の生活福祉資金貸付事業の源となる「世帯更生運動」もその一つである。

近年の大きな転換期は、社会福祉基礎構造改革により、「保護・救済」の社会福祉から、国民全体を対象とする福祉へと転換した平成12年である。この際、民生委員は地域福祉の担い手として明確に位置付けられ、改正民生委員法では、その役割が「保護指導」から、「常に住民の立場に立って相談に応じ、及び必要な援助を行う」へと変更された。これ以降、介護保険制度の施行も相まって、さまざまな福祉サー

ビスの周知や地域における見守りなど、より広範な活動が期待されるようになった。

このように、時代とともに地域の姿が変化する中で、いつの時代も最前線で住民に寄り添い、最も身近な相談役を担ってきたのが民生委員である。

なお、民生委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱される特別職の地方公務員である。児童福祉法に規定される児童委員も兼ね、任期は3年となっている(再任可)。

## 社会から見た民生委員 -国民の7割に知られる-

全国民生委員児童委員連合会が平成31年3月に、全国1万人を対象にした調査によると、「民生委員という名称を聞いたことがある人」は、**69.8%に上る**ことが明らかになった。

また、「地域に必要な存在」(77%)、「社会福祉への理解と熱意がある人」(75.7%)というイメージがもたれている。その一方、「活動内容まで知っている」人は、**わずか7.9%**であり、活動内容に踏み込んだ理解の促進がこれからの課題である。

## 民生委員活動の現状

### ◆民生委員の7つの活動◆

現在の民生委員数は、全国で23万人を超え、各民生委員の活動状況は図表1のとおりだ。データでは、年間130日以上以上の活動や105回を超える訪問・連絡活動など、日々の活動実態が読み取れる。

これらの活動は大きく7つに分類される。1点目は、担当区域内の実態を把握する「**社会調査**」である。例えば、高齢者の実態把握調査や、引きこもりがちな人々の調査など

図表1 民生委員の活動件数(平成29年度)

活動の種類	年間活動件数(1人当たり)
活動日数	130.5日
訪問・連絡活動	105.3回
相談・支援	24.9回
調査・実態把握	22.0回
行事・会議への参加協力	26.3回
地域福祉活動・自主活動	38.4回
状況確認(証明事務)	2.1回

厚生労働省「平成29年度福祉行政報告例」をもとに県社協作成(福祉行政報告例より)

を実施する。2点目は、住民の抱える課題を受け止め、親身に対応する「**相談**」である。高齢者や障害者に限らず、母子や子どもの教育、経済的問題や住居に関する事など、相談は多岐にわたる。3点目は、社会福祉の制度やサービスを住民に知らせる「**情報提供**」、4点目は、住民の抱える問題について行政機関、施設、団体等に連絡して必要な対応を促進する「**連絡通報**」である。5点目は、住民が適切な福祉サービスが提供されるよう支援する「**調整**」であり、近年は、調整の場の一つとして「地域ケア会議」に民生委員が参画する機会も増えている。6点目は、地域での自立した生活に向けた「**生活支援**」である。具体的には、見守りや「ふれあいいきいきサロン」など、さまざまな小地域福祉活動を通して生活支援が取り組まれている。7点目が、活動を通じて得た問題点・改善点をまとめ、民児協を通じて関係機関に提起する「**意見具申**」である。

### ◆活動の原則◆

これらの民生委員活動には三つ

の原則がある。一つ目は、「**住民性の原則**」である。自らも地域に暮らす住人として、身近なところで、住民の立場に立った活動を行う。二つ目は、「**継続性の原則**」である。福祉問題の解決には時間をかけることも多い。民生委員の交代が行われても、その活動が引き継がれ、切れ目のない対応を行うことが求められる。三つ目は、「**包括・総合性の原則**」である。個々の課題の解決を図り、地域全体の課題に対応していくために、包括的・総合的な視点に立つて活動する必要がある。また、これらの活動の根幹には、住民との信頼関係が不可欠である。

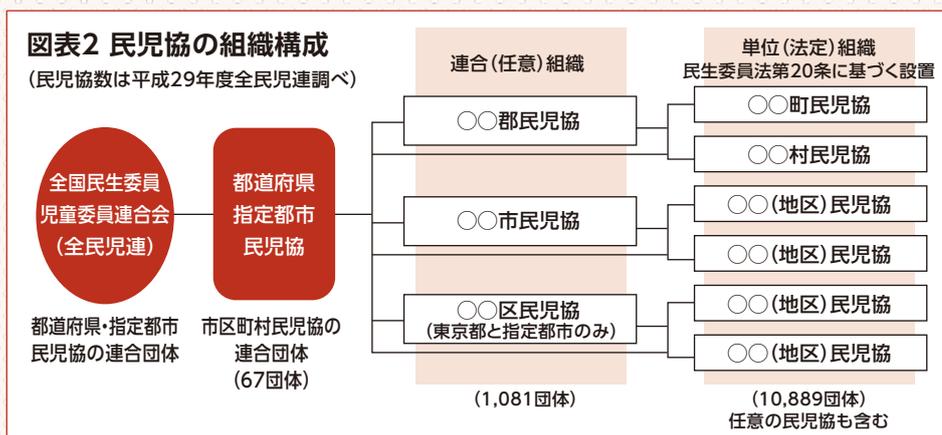


地域ぐるみで進める見守り活動(加古川市)

り、例えば、活動を通して知り得た情報に関する守秘義務なども活動のポイントになる。なお、こうした民生委員の活動を支える組織として、地区単位から市町村、都道府県指定都市、全国に組織が設置されている(図表2)。

図表2 民児協の組織構成

(民児協数は平成29年度全民児連調べ)



## インタビュー

### 民生委員活動について(伊丹市)

今回、伊丹市A地区で委員活動を通して長年地域住民に寄り添う、ある民生委員にお話を伺った。

#### 日頃の委員活動について

主に、①民児連活動、②ふれあいサロンや地区の会議への出席、③訪問活動、④行政からの依頼協力への対応を行っています。

#### A地区はどんな地域ですか。活動での気づきや変化をお聞かせください

委嘱されてから約10年は、これといった問題がなく、課題は少ない地域だと思っていました。しかし、近年は、ご近所付き合いが少なくなり、地域のつながりも希薄になっていきます。さらに、一人暮らしの認知症高齢者の増加や「8050」問題といった課題の複合化など、昔と比べて地域に変化を感じます。

また、高齢者実態調査(一人暮らし高齢者と要援護者が対象など)を通じた訪問をきっかけに、気にか

るようになった世帯も多いです。

#### 印象に残る委員活動があればお聞かせください

ご本人からシルバー人材センターに相談が入り、社協職員と訪問したことがきっかけで、自宅内の様子分かり、福祉サービスの利用につながったケースがありました。

#### 民生委員活動で大切なことは何だと思えますか

住民一人ひとりの想いに寄り添うことではないでしょうか。

多くの人との出会いや研修会などへの参加を通して学ぶことがたくさんあります。活動での悩みや日々の忙しさから「しんどさ」を感じることもありすが、心を動かされる経験に「楽しみ」や「喜び」を見出すことも大切だと思います。

#### 新任民生委員の方へのメッセージをお願いします

私自身、しんどい時期もありましたが、活動を続けるうちに、地域の中でつながりができました。そして、自分の居場所はここにあると感じることが喜びといえます。

全てを一人で背負うことなく、周りと協力しながら自分にできることを続けていただきたいと思います。

#### ◆民生委員のなり手不足◆

地域福祉の担い手である民生委員への期待が高まる一方、さまざまな課題も見られる。とりわけ大きな課題が民生委員のなり手不足である。近年は欠員率が上昇し、短期で退任する委員も増えている。

なり手不足を含めた民生委員の抱える課題への対応について、全国民生委員児童委員連合会が設置した「これからの民生委員・児童委員制度と活動のあり方に関する検討委員会」(平成29年度)では、いくつかの対応策を提起している。例えば、委員定数や推薦要件の再検討、夜間・休日を含めた民生委員からの相談に応じるバックアップ体制づくり、就業と民生委員活動の両立ができる環境整備などである。

いずれにしても、地域や人々の意識が大きく変わる中、無給で活動する民生委員に過度な負担がかか

ず、役割が発揮できるような体制づくりを進めることが社会全体の課題である。この体制づくりの基盤は、民生委員への適切な理解である。地域の課題は民生委員だけで解決することはない。地域住民や専門職が協働して解決に向けて取り組む必要がある。また、民生委員自身が「できること」「できないこと」を正しく理解し、活動のための知識と技術を高めていくことも必要である。

今回の一斉改選を機会に、民生委員同士や関係者と活動の振り返りや体験の共有を図り、活動の目標や意義を再確認することも重要になる。



自主防災会による防災訓練(豊岡市)

## 「地域共生社会」と 民生委員活動

少子高齢化と単身化が進む中、人と人のつながりが希薄になりさまざまな生活・福祉課題が広がってきている。とりわけ深刻なのが、重なる課題を抱えながらも支援につながらない人々の存在だ。例えば、80代の高齢の親と働いていない50代の子が同居している世帯のいわゆる「8050問題」や、育児と介護に同時に直面する「ダブルケア」などが挙げられる。

こうした状況を背景に、「地域共生社会」の実現に向けた各種施策が展開されようとしている。「地域共生社会」とは、どんな価値観や生活スタイルをもつ人も受け入れられ、つながりの中でいきいきと暮らせる地域社会の姿であり、孤立する人をつくらない「包摂」の地域社会である。

「地域共生社会」を、官民が協働して実現するために、これから特に重要となる民生委員活動について、ここでは2点を提起したい。

### 一点目は、「住民に寄り添う役割」

である。従来から、民生委員は地域の身近な相談役であった。現在のよう孤立する人が増え、ニーズが見えにくくなる中、「声なき声」に耳を傾け、人々に寄り添う伴走者としての民生委員の役割はますます重要といえる。困りごとに直面しても、自ら相談することができず住民は決して多くはない。だからこそ、地域住民や行政、専門機関との連携の中から気になることをキャッチし、日常的な見守りに結びつけることが大切となる。

二点目は、「つなぐ役割」である。課題は、見えにくい上に複雑・多岐にわたり、専門的な対応が必要なケースも多い。このため、民生委員だけ、あるいは地域だけで解決を目指すスタンスではなく、幅広い関係団体や住民同士の「つなぎ役」を、民生委員が積極的に果たすことが求められている。これは地域づくり全般にいえることでもある。

地域組織や活動団体が単独で網羅的に地域づくりを担うことには限界がある。さまざまな人や団体が

が協働していくために、つなぎ手としての民生委員の役割が不可欠である。

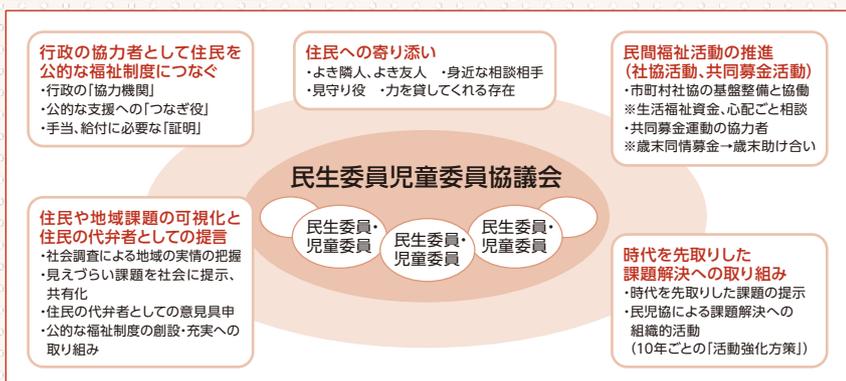
これら2つの役割を含めて、民生委員の大きな力が発揮されるのが災害時の対応だ。各地で頻発する災害において、地域に精通した民生委員は頼られる存在となる。高齢者や障害者など、特に支援が必要とされる要援護者への声かけと避難支援、その後の生活支援において、民生委員の力が存分に発揮されている。

こうした活動はいざという時だけのものではない。日頃の委員活動における要援護者との信頼関係づくりや地域ぐるみの見守り、行政を含めた関係機関との連携こそが災害時に生きてくる。民生委員には、要援護者を含む住民とともに、「自分たちにできること」を考え、地域の連帯感を高める平時からの働きかけが求められる。

ここまで、民生委員を取り巻く情勢変化、活動内容や期待される役割などについて整理してきた。あらためて確認できたのは、時代や社会情勢の変化に柔軟に対応し

つつ、住民の良き相談相手・代弁者として地域を見守り、地域福祉の推進役として活動を積み重ねてきた民生委員の姿である。今回の一斉改選を経て新しい時代を迎えてもなお、民生委員はさまざまな関係機関とともに、支え合う地域社会づくりに取り組む重要なキーパーソンであり続ける。

図表3 民生委員・児童委員が果たしてきた役割



全児民連「これからの民生委員・児童委員制度と活動のあり方に関する検討委員会中間報告」(平成28年)より



# 「ストップ・ザ・無縁社会」 地域での支え合い

<http://stop-muen.jp>

## TOPICS

### 丹波篠山市で、第68回兵庫県福祉大会を開催しました！

10月31日、丹波篠山市の田園交響ホールにおいて、県・県社協・丹波篠山市・丹波篠山市社協の4者の主催で、第68回兵庫県社会福祉大会が開催され、約800名の参加がありました。

この大会は、令和初の大会として、これまで県内の社会福祉の向上に貢献された716名・24団体の功績が讃えられました。



ユーモアを交えて語る西川ヘレン氏

大会の後半では、西川ヘレン氏による記念講演会「大家族 支え愛・見守り愛・励まし愛」があり、家族の絆の大切さ、地域での見守りあいや支え合いの大切さを参加者全員であらためて共有する一日となりました。



### 支え合い社会に向けて、福祉のまちづくりを考える

丹波市では、住民流福祉総合研修所の木原孝久氏により「ご近所パワーで助け合い起こし」と題した地域福祉講演会を10月19日に開催。講演では、近隣の力をどのように生かして、助け合いのまちをつくるかをテーマの中心にしなが、まず、自分自身が助けられ上手、見守られ上手になること、そして、周りに助けてと言える地域をつくっていくことが大切だという話がありました。



参加者からは、「おせっかいこそが本当の思いやり、という言葉が印象的だった」との感想が聞かれるなど、地域の関わりを考える機会となりました。

### 「ユニバーサルカフェ」開設応援の助成事業 助成団体が決定しました

年齢、性別、障害の有無、文化の違いに関わりなく、全ての人々が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、持てる力を発揮できる「ユニバーサル社会」。そんな社会を目指して、住民同士の交流・支え合いの場となる「ユニバーサルカフェ」の開設を応援する事業が実施されています。

今年度は右の9団体への助成が決定し、今後は各団体の活動が本格化します。本紙では、随時、「ユニバーサルカフェ」の活動をレポートする予定です。

- ① 真野地区まちづくり推進会(神戸市長田区)
- ② 姫路市社協旭陽支部 坂上いきいきふれあいサロン(姫路市)
- ③ あしや聖徳園(芦屋市)
- ④ よりみちカフェ(ゆず)(豊岡市)
- ⑤ 小坂区なかや(豊岡市)
- ⑥ 米谷いきいきサロン(宝塚市)
- ⑦ 高砂市中筋一丁目老人クラブ(高砂市)
- ⑧ 西田中ふれあいの会(市川町)
- ⑨ 香美町社協(香美町)



# みんなで作るひょうごの福祉

## 子どもたちのために居場所をつくる 地域に根ざした子ども食堂

今回は、加東市で子ども食堂を運営するNPO法人ペイフォワードの活動を紹介します。地域の子もたちが自然と集まり、楽しみながら食事ができる環境がそこにはあるんだ。

### 子どもたちが集まる場所をつくりたい

土曜日の夕方、加東市社福祉センターには活気ある子どもたちの声が響く。子ども食堂を運営するNPO法人ペイフォワードは、加東市で家庭の事情で食事を摂ることができない子どもや、一人で食事をしている子どもにも、健康的で温かい食事を提供したいとの思いから、理事長の目下伸一さんを含む有志4人によって設立された。

設立時のメンバーの約束事は、「やるからには継続してやること」。毎週続けてきた子ども食堂

は、これまでに133回を数え、延べ2,100人以上が参加。この11月に丸3年を迎えた。「みんなが無理なくできることを、子どもたちのためにやるといふ思いが原動力」と目下さんは語る。



心のコもった料理を提供してくれるスタッフ及びボランティアのみなさん

### みんなでつくりあげる子ども食堂

ペイフォワードの子ども食堂の特徴は、地域の様々な力を集結して運営されている点にある。例えば、市社協は場所の提供で協力し、調理面では、栄養士経験者を含む近隣のボランティアを中心に、地元住民から寄付のあった食材を

使ったバランスの良い食事が提供される。また、地元の社高校の生徒も月1回メニューを考えて調理を手伝い、さらには、兵庫教育大学の学生は、子ども食堂に際して小・中学生への学習支援を行う。

地域に根付いて取り組むペイフォワードの子も食堂は、口コミで広がり、参加者、協力者とも増えていった。現在、常時15名程の子もが参加し、子どもたちにとってはお兄さんやお姉さんと遊べ、休みの日にも友達に会えるかけがえのない居場所になっている。

### 子どもたちに伝えたいのは

子どもたちは、学校とは違う環境で大人と触れ合い、楽しみながら社交性や礼儀を学ぶ。ペイフォワードとは、『恩送り』という意味



おいしい料理を食べる子どもさん

で、恩を数珠つなぎにバトンタッチできる人に育ってほしいという、子どもたちへの思いが込められている。

「ここに来た子どもたちが、地域の方や友達に感謝の気持ちを伝える。そういうことを通じて、子ども食堂を、思いやりと感謝が身近に感じられる場にしたい」と目下さんは語る。今後、地域みんなで支え合い、ペイフォワードは子どもたちのために歩みを進める。

### 取材を終えて

当日は、誕生日会が開かれ、子どもたちの笑顔で溢れていました。調理室ではスタッフ、ボランティアが和気あいあいと調理し、その温かさが料理に現れていました。みんなが楽しみながら子ども食堂に関わる姿が印象的でした。

子ども食堂ペイフォワード

TEL: 0990-15888-6851

(法人事務局 小紫)

実施団体 NPO法人ペイフォワード

開催時間 17時～20時(毎週土曜)

開催場所 福祉センター(加東市社26)

参加費(食事代) 小・中学生200円

(学習をすれば無料)

大人500円

## Q2.どのように活動を進めていますか

**A2.**小学校1・2年生を対象に、毎週火曜日の17時～18時に施設内の部屋で運営しています。

現在は8名が通っており、1年生は「学習の楽しさを感じる」こと、2年生は「日々の学習習慣を身につける」ことをねらいとしています。学校の宿題、国語・算数のプリントを各自で解き、分からないところはスタッフに質問してもらい、一緒に考えるスタンスを大事にしています。

卒園児には、小学校が別々になっても友達や先生たちと会える場所にもなっています。また、卒園児以外の子どもにとっては、新しい友達との交流があるほか、保護者同士、保護者と先生など、学習支援を通して“つながる”きっかけになっています。

## Q1.取り組みのきっかけは

**A1.**地域の子どもたちが集える場の必要性に着目し、「子どもたちの将来につながる支援をしたい」という理事長のリーダーシップのもと、学習支援を企画しました。理事長と認定こども園あおいそらの園長を中心に議論を重ね、平成29年5月に学習室「あおいそら」を開始しました。

当初は、大学生の2名で行っていましたが、学生は子どもたちが慣れた頃に代わってしまいます。長く続けられるスタッフのほうが、子どもにとって馴染みやすいと考え、幼稚園の教員免許を持ち、子どもの見守りも行える専任講師を配置しました。平成30年6月からは、専任講師と事務職員で継続的に対応できるようにしました。

暮らしを支える地域公益活動を紹介します。

# キラリ★社会福祉法人★

## 社会福祉法人友朋会

### 地域の学びの場 学習室「あおいそら」

今回は、社会福祉法人友朋会が実施する学習室「あおいそら」を紹介します。

子どもたちの将来を見据えた支援をしたいとの思いから、地域の小学校

1・2年生を対象に、無料で学習の場を提供する取り組みです。

毎年3月頃に参加する子どもたちを募集します。

社会福祉法人友朋会による  
小学生の学習室「あおいそら」

小学生（あもに、2年生）の子ども達の学習を支援するために、下記のような学習室を運営しています。  
興味のある方は、是非ご連絡ください。

日時： 毎週火曜日 午後5:00～5:30（4月11日スタート予定）  
（午後4:50～入室可能）

場所： あおい幼稚園1F

講師： 幼稚園で子どものお母さん、保護者のお母さんをお招きします。

申し込み方法： 電話または事務局まで TEL: 072-767-1510

申し込み期： 3月 日（ ）まで 応募人数に達しない場合は、別途募集します。  
（応募者多数の場合は抽選による場合があります。）

学習内容： 5:00～5:25 算数のプリント  
5:25～5:30 休憩  
5:30～5:55 国語のプリント

料金： 無料

持ち物： 筆記用具（プリントはこちらで用意します。）

指導員： 友朋会職員 職員免許を頂いた者の指導は実施しません

※学校でわからないことを質問したり、宿題が残っている場合は、指導員に相談してください。  
※学習室の様子を見て変更することもあります。  
※日曜日の学習室にも変更する場合があります。  
※入室の順序は、申し込み順で行います。  
※申し込みをしていない方がキャンセルをする場合は、事務局までご連絡をお願いします。

## Q3.今後、どのように進めていきたいですか

**A3.**「大人と一緒に考えることで、学校の授業の助けになってほしい。そして、家庭学習につながってほしい」との思いで、日々、試行錯誤しています。

認定こども園の先生が学習支援の様子を見に来たり、保護者との話の中で相談に乗ることもあります。今後も子どもたちの成長を保護者とともに見守ってまいります。

また、本会が学習支援をしていることを地域に広く周知し、学習支援を通して、子どもたちに学習の楽しさを知ってもらえるように、そして、保護者や子どもたちの思いに寄り添い、楽しく通ってもらえるように活動したいです。

先生と一緒に考えながら、「分かる」楽しさを学びます。



社会福祉法人友朋会  
川西市久代6丁目1番90号  
TEL:072-767-6203  
URL:<http://ufo-group.or.jp/>

報恩感謝  
誠心誠意

このコーナーでは、地域福祉のキーパーソンや実践者・当事者らのエピソード・想いを紹介していきます。

仲間に支えられた経験の  
恩返しをしたい！

## Personal History

平成 5年 父死去により事業を引き継ぐ。直後に阪神・淡路大震災で被災  
平成13年 自宅で母の介護を始める(～平成22年)  
平成25年 認知症の人と家族の会 電話相談員、兵庫県支部世話人  
平成29年 // 兵庫県支部副代表  
令和元年 // 兵庫県支部代表

くまがい みつこ  
熊谷 光子さん  
(三木市)

母の介護の始まりと  
会との出会い

私が会の世話人になったのは、母を看取って3年経った後でした。母の介護で、心身ともに辛かった時



レモンティーとお風呂が大好きだった母と。

この会に支えてもらった経験の恩返しをしたいという気持ちもありました。介護保険制度が始まった頃、母に

認知症のような症状が出て、介護が必要となりました。当時は「認知症」という言葉も病気も知られておらず、県民向けの研修会があったので、私も参加しました。その時に、当会会員が自身の介護体験を語っていました。大変な苦労に関わらず、笑顔で穏やかに話す姿が印象的で、私はそれをきっかけに入会しました。

しんどい時、  
仲間の存在が大きな励みに

介護を始めた頃は、父の仕事を継いで借金の返済に追われ、義母の死去、夫の病気といろんなことが重なっていました。昼に寝て夜間は起

きている母の「家に帰りたい。お母さんが待っている」といった訴えに、母の実家まで車を走らせたこともありました。心身ともに

疲弊し、深夜の帰り道、車ごと谷に突っ込んだら楽になるとさえ思ったこともありました。気持ちが張り詰め、先の介護体験を聞いた会員へ手紙を書いたところ、丁寧に返信をもらいました。その気持ちが本当にありがたかったです。

介護では、身の回りの世

話に加え、家族関係の変化、仕事との両立などストレスを抱えがちですが、外出や気分転換も難しくなりました。そんな時、毎月の会報に目をやると、会員の声が掲載されていて、それは同じ立場だからこそ分かり合えるものばかりでした。顔は見えないけれど仲間の存在を確かに感じられ、ずいぶん支えてもらいました。



毎月の「つどい」は会員同士が交流してホッとする場。

あればとの気持ちから電話相談員、さらには世話人を引き受けました。また、自分が住む地域でも、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのために、ボランティアグループ「みどりほっとクラブ」で認知症サロンや見守り・啓発活動のほか、介護家族のためのサロンも始まっています。私が介護をしていた頃は地元に家族会（介護者の会）はありませんでしたが、今はあちこちの市町にあります。

当会は、そこで寄せられる声なき声を集約するため、各地の家族会とのつながりを大切にしています。そして、当事者の視点から、組織だつて県や国に必要な事項を訴えることが当会の役割であり、強みだと考えています。

## 認知症の人と家族の会

<http://www.alzheimer.or.jp/>

## 認知症・高齢者電話相談

電話078-360-8477  
(月・水・木・金曜 10～12時・13～16時)

次は会と地域へ  
恩返ししたい

介護を終え、自分にできることが

広域災害への  
救援活動を展開

台風19号災害を始め、全国各地で台風などによる多くの住家被害が発生している。各地では、開設された災害ボランティアセンターが100カ所を超え、懸命な被災者支援が進められている。

本会では、全社協から近畿ブロックへの支援要請を受けて、10月25日から12月2日までの計5クールにわたり、台風19号で大きな被害を受けた福島県伊達市・郡山市に兵庫県内市町社協職員8名を派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援を行った。



併せて、生活福祉資金の特例貸付が実施されたことを受けて、同じく全社協より福島県内における窓口対応の支援要請があったことから、県社協職員1名を伊達市に

派遣した。

また、ひょうごボランティアプラザでは、10月17・18日に職員4名を先遣隊として長野県に派遣し、現地状況の調査を実施するとともに、ふるさとひょうご寄附金を活用しての「大規模災害ボランティア活動応援プロジェクト」の制度を初めて適用するなど、会を挙げての支援活動を展開している。

大規模災害ボランティア  
活動応援プロジェクト

被災者の生活の早期復旧、自立を支援するために被災地に駆けつけるボランティア活動を行う団体・グループを対象に、交通費・宿泊費の一部を助成します。

対象者…5人以上で構成する団体・グループ  
対象活動…令和元年台風19号災害の被災者支援活動（被災者宅のがれき撤去、泥かき、避難所運営支援など）  
受付期間…令和2年3月31日まで  
問い合わせ先…ひょうごボランティアプラザ  
TEL 078・3600・6300

セルフヘルプグループとの  
協働・支援を広げよう

10月30日に県福祉センターにて「第1回社協ワーカー実践研究会」を開催し、33名の社協職員が参加した。

会議テーマの「セルフヘルプグループ（以下、SHG）」とは、障害や病気、ひきこもり、性的少数者などさまざまな生きづらさを抱える当事者がつながり支え合うためのグループである。生きづらさによる孤立が社会問題となる中、SHGを理解し、協働・支援するための取り組みのヒントを得ることを会議の目的とした。

講師に「ひょうごセルフヘルプ支援センター」代表の中田智恵海氏を迎え、午前は講義を行った。課題解決ではなく課題を抱えながらも生きていく力を得ること、専門職任せではなく自らの体験的知識を持ち寄り、自己と社会を変革することなどがSHGの働きとして話された。午後は、三つのSHG活動者が登壇し、参加者から出された質問に回答する形式で演習を実施。登壇者か

らは、SHGの活動を通して安心して気持ちを話すことで、一人じゃないと思えたという体験談が話された。また、支援者に対しては、自主性を引き出すことよりも「待つ」ことを大切にして欲しいという意見が出された。

参加者からは「SHGへの認識が180度変わった」「まずは地域のSHGとつながりたい」という声が出され、SHGと交流し学び合うことがうした機会が、市町域で開かれることの意義も確認する会議となった。



▲SHG活動者からは、体験談に基づく意見が出された

◀当事者同士をむすぶ中間支援は社協の役割と話す中田智恵海氏



## 寄付・寄贈のお礼

11月11日、着物の販売などを行う株式会社夢染<sup>ゆめぞん</sup>から寄付があり、吉本会長から感謝状を贈呈した。同社は、平成23年からチャリティイベントを全店で開催し、各店舗がある市や社協などに寄付を行っている。

また、同12日、神戸元町ミュージックウィーク実行委員会より兵庫善意銀行に寄付があり、吉本会長から感謝状を贈呈した。寄付金は、毎年秋に開催されるイベント「神戸元町ミュージックウィーク」で参加者から寄せられたもの。寄付金は、佐賀県社協を通じて、8月の豪雨災害で被害を受けた地域の復興支援に役立てられる。



株式会社夢染へ感謝状を贈呈



神戸元町ミュージックウィーク実行委員会へ感謝状を贈呈

## 公益財団法人木口福祉財団が、兵庫県社会賞を受賞!

公益財団法人木口福祉財団(芦屋市)は、株式会社ワールドの創業者である木口衛氏が、阪神・淡路大震災からの復興が徐々に進む一方で、復興支援の手が行き届かない障害者の状況を鑑み、また、ボランティア・市民活動の重要性を痛感したことから、平成10年に設立した財団である。

「お世話になったみなさんにご恩返しをしたい」「社会的に弱い立場におかれている方々にやさしい、明るく住みやすい地域社会の創造のため少しでもお役にたちたい」という、木口氏の志を基盤に、助成事業、施設貸与事業を主な事業として活動している。

### 公益財団法人木口福祉財団の助成事業

全国各地の福祉活動やボランティア活動などに対する助成事業を通じて、市民参加型福祉の促進と地域振興を図り、障害者などの社会的に弱い立場にある方々にやさしい、明るく住みやすい地域社会を創造する。これまでの助成件数は1,198件、助成金額は約9億7千万円にのぼる。



助成金はさまざまな形で福祉・ボランティア活動に生かされる

長年にわたる貢献が認められ、同財団は、このたび令和元年度の兵庫県社会賞を受賞された。特に、障害がある当事者が安心して暮らせるよう、居場所づくりや就労支援の充実などを目指し、支援が届きにくい団体のニーズに積極的に応えたことへの評価が今回の受賞につながっている。

受賞を一つの励みとしながら、今後も同財団は、理念である“笑顔のつながり”のもと活動を続ける。



兵庫県社会賞の受賞式にて



公益財団法人 木口福祉財団

〒659-0051 芦屋市呉川町14-10

☎0797-21-5150

ホームページ <https://kiguchi.or.jp/>



役員・スタッフのみなさん

# INFORMATION

## 助成金情報

県社協「ひょうごボランティアプラザ」のWEBサイトでは助成金情報を多数掲載しています。



### 公益財団法人さわやか福祉財団 連合・愛のカンパ助成

地域の助け合い活動の団体立ち上げや新規事業を支援するための助成を行います。

**対象** 地域における「ふれあい・助け合い活動」を行う任意団体、NPO法人、グループ、サークルなど ※新規事業の立ち上げ、または、新たな団体立ち上げのための準備資金に限定

**助成額** 1団体上限15万円(19団体を用途に助成)

**締切り** 令和元年12月15日(日)必着

**④ ⑤** 公益財団法人さわやか福祉財団  
TEL 03-5470-7751

**URL** <https://www.sawayakazaidan.or.jp/>

### 公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団 2019年度公募福祉助成金

地域で福祉活動に取り組む民間団体や施設などに助成します。

**対象** 児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、医療福祉などを行う民間団体 ※対象地域の指定あり

**助成額** 1団体上限50万円(総額200万円以内)

**締切り** 令和元年12月20日(金)必着

**④ ⑤** 毎日新聞大阪社会事業団  
TEL 06-6346-1180

**URL** [https://www.mainichi.co.jp/osaka\\_shakajigyo/](https://www.mainichi.co.jp/osaka_shakajigyo/)

### 日本コープ共済生活協同組合連合会 2020年度地域ささえあい助成

①くらしを守り、くらしの困りごとの解決に資する、②命を守り、その人らしい生き方ができるようにする、③女性と子どもが生き生きする、をテーマとする活動を支援します。

**対象** 生活協同組合、NPO法人、任意団体、市民団体 ※その他要件あり

**助成額** 1件上限100万円(総額2,500万円以内)

**募集期間** 令和2年1月7日(火)～1月31日(金)消印有効

**④ ⑤** 日本コープ共済生活協同組合連合会  
TEL 03-6836-1320

**URL** <http://coopkyosai.coop/>

### 一般財団法人冠婚葬祭文化振興財団 2019年社会貢献基金助成

社会貢献活動を行う団体や社会貢献に資する調査・研究を目的とした事業に助成します。

**対象** 一定の要件を満たす、非営利組織(財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、任意団体、市民ボランティアグループ)、大学、研究機関など

**対象事業** 研究助成事業、高齢者福祉事業、障害者福祉事業、児童福祉事業、環境・文化財保全事業、地域つながり事業、冠婚葬祭継承事業

**助成額** 1件上限200万円 ※研究助成事業は1件上限100万円(総額およそ1,000万円)

**締切り** 令和2年2月29日(土)必着

**④ ⑤** 一般財団法人冠婚葬祭文化振興財団  
TEL 03-3596-0061

**URL** <http://www.ceremony-culture.jp/>

### 公益財団法人杉浦記念財団 第9回杉浦地域医療振興助成

医療従事者および介護福祉従事者等の多職種が連携して、「地域包括ケア」「健康寿命の延伸」の推進に寄与する活動に助成します。

**対象** 日本国内で活動する個人または団体

**助成額** 1件上限50万円(総額500万円)

**募集期間** 令和2年1月1日(水)～2月29日(土)

**④ ⑤** 公益財団法人杉浦記念財団  
TEL 0562-45-2731

**URL** <http://sugi-zaidan.jp/>

### 研修・イベント

#### 県こころのケアセンター主催 「こころのケア」研修

令和2年1月から「こころのケア」に携わる保健・医療・福祉・教育などの分野で活動されている方を対象に、各種課題への対処法などについて学ぶ「こころのケア」研修を実施します。

**会場** 兵庫県こころのケアセンター(神戸市中央区)

**研修日程** 2月20日(木)・21日(金)「対人支援職のためのセルフケア」ほか、1月～2月にかけて全4コース開催

**募集方法** ホームページで研修プログラムを確認し、受講申込書に必要事項を記入のうえ、郵送、FAX又はEメールで申し込み。 ※受講料(資料代等)はコースにより異なる

**④ ⑤** 兵庫県こころのケアセンター研修情報課  
TEL 078-200-3010

**URL** <http://www.j-hits.org/>

## 行事予定

**12月 4日** 福祉のしごとと職場見学バスツアー(東播磨コース)

◆常寿園・鹿児の郷

第2回大規模災害を想定した災害ボランティア連携訓練

◆神戸クリスタルタワー

**6日** 法人経営トップセミナー

◆ザ・マーカススクエア神戸

**9日** 社会福祉法人 財務管理研修

◆県福祉人材研修センター

**12日～** 高齢者福祉リーダーゼミナール(全4日)

◆県福祉人材研修センター

**14日** 民間社会福祉事業職員互助会 創立45周年事業

◆ブルーリッジホテル

**17日** ひょうご若者被災地応援プロジェクト活動報告会

◆神戸クリスタルタワー

**19日** 福祉のしごとと職場見学バスツアー(淡路コース)

◆障害者支援センターぶったあ・フローラせいだん

**20日** 地域公益活動推進セミナー

◆県福祉センター

**23日** 若年性認知症家族介護者連絡会

◆県福祉センター

**25日** 介護・障害サービス事業経営セミナー

◆のじぎく会館

**1月 8日～** 介護支援専門員実務研修

◆神戸ファッションマートほか

**10日** 第2回社協ワーカー実践研究会議

◆県福祉センター

**11日** 令和元年度新年福祉のつどい

◆ANAクラウンプラザホテル神戸

**17日** 令和元年度会計実務担当者研修(予算・決算編)

◆県福祉人材研修センター

**24日** 経営協第254回理事会・兵庫県経営協セミナー

◆神戸メリケンパークオリエンタルホテル

社会福祉従事者関連研修のご案内は、「メールマガジン」にて行っています。是非、ご登録をお願いします。

兵庫県福祉人材研修センター  
<https://hfkensyu.com/>



### ANAクラウンプラザホテル神戸のおせち料理

和洋中三段重(3～4名様用) ¥30,240(税込)  
神戸たん熊北店コラボ 和洋中三段重(3～4名様用) ¥37,260(税込)  
洋風一段重(2～3名様用) ¥16,200(税込)  
洋風二段重 個食(2名様用) ¥12,960(税込)

■お申し込み期間 12月25日(水)まで  
■お渡し日 12月31日(火) 10:00am～7:00pm

【ご予約・お問い合わせ】  
クラウンイベントチーム ☎ 0120-75-4160

ANAクラウンプラザホテル神戸  
〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目  
T 078-291-1121 F 078-291-1154  
anacrownplaza-kobe.jp

## 「兵庫県福祉手帳2020」 予約注文受け付け中!

兵庫県福祉手帳<2020年度版>が12月中旬発売予定です。カレンダーのほか、県内の福祉関係機関一覧を掲載しており、福祉関係者必携!

※民間社会福祉事業職員互助会の加入者には互助会より配布されますのでご注意ください。

2020

【サイズ】ヨコ9cm×タテ15cm 【価格】990円(税込)

申し込み・問い合わせ先 兵庫県社協 企画部 TEL078-242-4633